

指導時期	単元	教材名	配当時数 ()内は含まれる領域の時数	教材目標	学習活動の流れ	学習指導要領との対応		評価の観点の例
						知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	
4月	かすかな潮においては、そこにもあった	虹の足	1	●見えている「虹の足」とおして、見えていない「虹の足」について考える。	1 「虹の足」などの比喩的な表現が表しているものを考えながら、感想を交流することをとおしてこの詩にこめられた作者の感動を読み取る。	(1)エ	C(1)イ C(2)イ	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【態度】すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。
		【話す聞く】質問する力をつける	話聞1	●伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。	1 グループで、封筒の中に隠された言葉を当てるために、内容を考えて質問し合う。	(2)イ	A(1)ア A(1)イ A(2)ア	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ 【態度】積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
		タオル	5	●文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 ●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。 ●少年の気持ちの変化を捉え、表現の効果を考える。	1 「学びナビ」を確認する。全文を通して読み、登場人物やあらすじについて確認する。初発の感想を書き、読みの課題を整理する。 2 祖父をめぐる人々の思いを捉え、祖父の人物像について考える。 3 場面ごとの「少年」の心情の変化と、変化の理由を考える。 4 「涙」に着目して、少年の心情の変化を捉える。 5 「タオル」が果たした役割について考えをもつ。語り方の特徴とその効果について考え、感想をまとめる。	(1)エ	C(1)ア C(2)イ	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア 【態度】すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。

5月	文法の小窓1 活用のない自立語	2	●活用のない自立語のはたらきを理解する。	1 『文法の小窓1』を読む。名詞、連体詞、副詞の種類と用法について理解を深める。 2 接続詞、感動詞の種類や用法について理解を深める。『文法の小窓1』に戻り、しりとりで使える言葉のきまりを話し合いながら作る。	(1)オ		【知識・技能】単語の活用について理解を深めている。(1)オ 【態度】粘り強く活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
	【書く】 新聞の投書を書く	書5	●多様な方法で材料を集める。 ●社会生活の中から題材を選んで書く。	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、新聞の投書を書くための活動の流れを確認し、投書のテーマを決める。 2 教科書P39の投書を参考にして、説得力のある構成の仕方を考える。 3 集めた材料から自分の意見に合ったものを用いて投書を書く。 4 自分の意見を振り返り、表現や構成に注意して、推敲する。 5 書いた文章を友達と読み合い、意見を交換する。	(1)ア (2)イ	B(1)ア B(2)ア	【知識・技能】言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。(1)ア 【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
	漢字の広場1 まちがえやすい漢字	1	●似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	1 似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深め、正しい字形で漢字を書く。	(1)ウ		【知識・技能】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【態度】粘り強く学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

6月	二 富士山に降った大量の雨は、どこへ行ってしまったのだろうか	日本の花火の楽しみ	3	<ul style="list-style-type: none"> ●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●花火の魅力について、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通読し、筆者が読者に問いかけている一文を抜き出し、その答えを一文でまとめる。 2 第二～三大段落から、それぞれ話題の中心となる文を抜き出し、理想の花火について話し合う。第四大段落の結論部分を踏まえながら、筆者が述べている日本の花火の魅力について文章にまとめる。 3 私たちの社会や日常生活の中で思い起こされる「日本の〇〇の魅力」について、文章にまとめる。 	(2)ア (2)イ	C(1)ウ C(1)エ C(1)オ C(2)ア	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【態度】すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>
		水の山 富士山	4	<ul style="list-style-type: none"> ●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通して読んで概要を捉え、小見出しを考えながら段落分けをする。 2 事例の提示や、問いと答えの関係を確かめながら読む。 3 図や写真と文章を関連づけながら読む。 4 富士山の恵みについての筆者の考えを捉え、それについての自分の考えをまとめる。 	(2)ア (2)イ	C(1)ウ C(1)エ C(1)オ C(2)ア	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【態度】すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>

<p>【話す聞く】 説得力のある提案をする</p>	<p>話聞 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●話の構成を効果的に組み立てて話す。 ●根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読み、「計画する」ことについて理解する。話題と提案内容を決め、意見と根拠を分けながら原稿メモを作成する。 2 文章構成を決め、スピーチ原稿を作成する。 3 お互いの発表を聞き、構成や意見と根拠の的確さを確認し合う。 	<p>(2)ア</p>	<p>A (1)ア A (1)イ A (2)ア</p>	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A (1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A (1)イ</p> <p>【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって主張しようとしている。</p>
<p>言葉の小窓 1 敬語</p> <p>言葉（解説） 1 敬語</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●敬語のはたらきや特徴について知る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 『言葉の小窓 1』を読み、敬語のはたらきと用法について理解しつつ、敬語を使って手紙を書き、グループ内で紹介する。 	<p>(1)ア (1)カ</p>		<p>【知識・技能】言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。(1)ア</p> <p>【知識・技能】敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ</p> <p>【態度】粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>
<p>【書く】 構成を明確にして手紙を書く</p>	<p>書 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●相手に対して適切に言葉を選ぶ。 ●書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、手紙の用件を決め、形式を確認する。 2 手紙の形式を参考に構成を考える。 3 手紙の形式を踏まえて、下書きをする。 4 形式や言葉づかいに気をつけて下書きを推敲する。 5 下書きを友達と読み合い、指摘し合ったあとで清書する。封筒、はがきの書き方、電子メールの書き方を知る。 	<p>(1)イ (1)カ</p>	<p>B (1)イ B (2)イ</p>	<p>【知識・技能】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ</p> <p>【知識・技能】敬語のはたらきについて理解し、文章の中で使っている。(1)カ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。B (1)イ</p> <p>【態度】積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書こうとしている。</p>

7月	三 神様はその人に乗り越えられない試練は与えない	夢を遊ぶ	3(書2)	●自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。	1 全文を通して読み、感想や関心をもった点などについて意見を交流する。 2 「みちしるべ」を読み、自分の考えをまとめるための方法と手順を確認したうえで課題を決める。 3 さまざまな方法で集めた資料や情報を整理して、自分の考えをレポートにまとめる。	(2)イ (3)エ	C(1)ア C(1)イ B(1)ア C(2)ウ B(2)ア	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【知識・技能】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。C(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【態度】すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。
		言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉	1	●話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。	1 『言葉の小窓2』を読んで、課題意識をもち、教科書P281の「考えてみよう」の変換作業に取り組む。	(1)ア (1)イ		【知識・技能】言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。(1)ア 【知識・技能】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ 【態度】粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
		言葉(解説)2 話し言葉と書き言葉	話聞3	●集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ●図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。	1 「学びナビ」を読み、「課題を設定すること」について理解する。身近にどのような問題が存在するかを考え、グループで意見を出し合い観点をしぼる。 2 問題解決に向けて情報を集めて自分の考えを整理する。 3 図やグラフを用いて発表し合い、発表の仕方について振り返りを行う。	(2)イ	A(1)ア A(1)ウ A(2)ア	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ 【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって議論しようとしている。

SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する	2 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> ●小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ●小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書きかえる。 	<p>1 『SNSから自由になるために』を読みSNSの性質を知り筆者の主張を捉えたあと、インターネットでの表現のあり方について考える。</p> <p>2 教科書P86「学びナビ」を読み、小説と脚本の違いを知り、任意の小説の一節を脚本に書きかえてみる。</p>	(2)イ	B (1)ア C (1)ウ B (2)イ B (2)ウ C (2)イ C (2)ウ	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B (1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。C (1)ウ</p> <p>【態度】 すすんで文章を比較するなどし、学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。</p>
漢字の広場2 漢字の成り立ち	1	●漢字の成り立ちについての理解を深める。	1 漢字の六種類の成り立ちを理解し、身のまわりの漢字を分類する。	(1)ウ		<p>【知識・技能】 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【態度】 粘り強く学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>

9月	四 紙管の工場は、日本中、世界中のどこにでもある	持続可能な未来を創るために――不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味	3 (話聞き書 1) 1)	●持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。	1 教科書P94～96を読み、「最初の『問い』」を考える。 2 教科書P97～99を読み、「次の『問い』」について話し合う。 3 教科書P100～102を読み、「最後の『問い』」について話し合う。これまでの話し合いを踏まえて、「最後の『問い』」について自分の考えを書く。	(2)ア (2)イ	A(1)イ B(1)ウ C(1)エ C(1)オ A(2)イ B(2)ア C(2)ア C(2)ウ	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【態度】すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって議論しようとしている。
		紙の建築	5	●事例の役割や効果を確かめながら読む。 ●事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 ●筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	1 「学びナビ」を読み、説明的な文章における事例の意図を理解する。 2 本文を読み、教科書P105上段の空欄を埋め文章全体の構成を理解する。 3 P113「内容を読み深めよう」を学習する。 4 P113「自分の考えを伝え合おう」を学習し、社会の中で働くことについて自分の考えを文章にまとめる。 5 文章にまとめたものをもとに社会の中で働くことについて話し合い、広い視野をもったり自分の考えを深めたりする。	(2)ア (3)エ	C(1)ア C(1)イ C(1)オ C(2)ア	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【知識・技能】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識

							や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【態度】すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。	
	【書く】 根拠をもとに 意見文を書く	書5	●多様な考え方が ある問題について 根拠をもとに 推論して考える。 ●考えの理由づけ を示して意見文 を書く。	1 学びナビを読み「推論」の重要性について理解し、多様な考え方が問題について題材を決める。 2 意見と根拠を適切に示し、推論の道筋が伝わりやすい構成を考える。 3 根拠の適切さを考えて具体例を示し、自分の考えが伝わる文章にする。 4 読み手の立場に立って、文章を整える。 5 読み手からの助言を踏まえ、自分の文章を振り返る。	(2)ア	B(1)ウ B(2)ア	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【態度】積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。	
	文法の小窓2 活用のある自立語 文法(解説)2 活用のある自立語	2	●用言の活用と種類・用法を理解する。	1 活用のある自立語について理解を深める。教科書P292の解説を参考に、動詞の種類や役割について理解を深める。 2 P297の解説を参考に、形容詞や形容動詞の活用や役割について理解を深める。	(1)オ		【知識・技能】単語の活用について理解を深めている。(1)オ 【態度】粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。	
10月	五 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり	敦盛の最期	4	●登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ●文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。	1 『平家物語』冒頭を歴史的仮名遣いに注意して音読し、『平家物語』の中心思想を理解する。 2 「敦盛の最期」を歴史的仮名遣いに注意して音読し、登場人物を確認してせりふの主語を確定する。 3 登場人物の言動や心情について話し合う。 4 記述を根拠にして登場人物の心情を読み取ったあと、一人で、あるいは役割を決めて朗読し、作品世界を味わう。	(3)ア (3)イ	C(1)ア C(2)イ	【知識・技能】歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【知識・技能】現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア 【態度】すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。

随筆の味わい	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ● 言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 歴史的仮名遣いに注意しながら音読し、どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつ。 2 『枕草子』を読んで季節の情景を捉え、感想を交流する。 3 『徒然草』を読んで筆者の考え方を捉え、それに対する自分の考えを文章にまとめる。 	(3)イ	C(1)イ C(1)オ C(2)イ	<p>【知識・技能】 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【態度】 すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことや考えたことを説明しようとしている。</p>
二千五百年前からのメッセージ	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ● 文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 書き下し文を音読したり暗唱したり、現代語訳を確認したりすることで、各章句の意味を捉える。 2 教科書の章句の中から一つ選び、そのよさについて話し合う。 3 『論語』の言葉で心に響いた表現や内容について考えをまとめ、好きな孔子の言葉を暗唱する。 	(3)ア	C(1)ア C(1)オ C(2)イ	<p>【知識・技能】 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【態度】 すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。</p>
坊っちゃん	2	<ul style="list-style-type: none"> ● わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 『坊っちゃん』を読み、作品の続きを予想する。 2 さまざまな資料を参考にして近代の小説や物語を探し、内容紹介をする。 	(3)エ	C(1)ア C(1)イ C(2)イ	<p>【知識・技能】 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【態度】 すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。</p>

11月	六 もはや逃げ場所はないのだ	短歌の味わい	2 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> ●情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 声に出して短歌を読み、情景や心情を味わう。鑑賞文を読んで感じたことを伝え合い、短歌にこめられた思いや表現の工夫について考える。 2 短歌のきまりを知り、短歌を創作する。 	(1)エ (3)ア	C(1)ア C(1)イ B(1)エ C(2)イ B(2)ウ	<p>【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【知識・技能】 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ</p> <p>【態度】 すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。</p>
		夏の葬列	6	<ul style="list-style-type: none"> ●人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 ●時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について考えを深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通して読み、語句を調べながら、あらすじを把握する。 2 物語の展開を捉え、感想の交流をとおして読みの課題を設定する。 3 人物の心情の変化を捉え、それについて感想を交流する。 4 主人公の人称の使い分けを比較し、その効果について話し合う。 5 結末部分について考えを深め、話し合いをする。 6 物語の展開や表現の工夫がどのような効果をもたらしているか考える。 	(1)エ	C(1)ア C(1)イ C(2)イ	<p>【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【態度】 すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。</p>
		映像作品の表現を考える	1	<ul style="list-style-type: none"> ●絵コンテを構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ●漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読み、絵コンテの仕組みや特徴について知り、原作の漫画と絵コンテの違いを考える。 	(2)イ	C(1)ウ C(2)イ C(2)ウ	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ</p> <p>【態度】 積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>

		漢字の広場3 漢字の多義性	1	●漢字の多義性についての理解を深める。	1 漢字の多義性についての理解を深め、熟語を正しく書き表す。	(1)ウ (1)エ		【知識・技能】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態度】粘り強く漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
12月	七 鯨や象のもつ「知性」は、いわば「受容的な知性」とも呼べるものだ	ガイアの知性	5	●筆者が用いる語句の意味を捉える。 ●筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ●自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。	1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通読し、問題と主張の関係を把握したうえで、「鯨と象」と「人間」の二つの「知性」の対比構造を捉える。 2 第一大段落の二つの問題提起を捉え、第二大段落以降の解決に関わる重要語句を見いだす。 3 第二大段落「鯨や象」の「高度な『知性』」の実体を捉える。 4 第三大段落を読み、「攻撃的な知性」と「受容的な知性」の関係を捉え、筆者の提言・主張の妥当性について判断する。 5 筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめる。	(1)エ (2)ア (2)イ	C(1)ア C(1)オ C(2)ア	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【態度】すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。

		【書く】 記事を書く	書5	●情報がわかりやすく伝わるように、文章や見せ方を工夫する。	1 実際の新聞やウェブサイトを読み、記事の情報整理の仕方を知る。 2 記事にするテーマを決め、材料を集める。 3 「新聞記事の構成」を手本にしながら実際に記事を書いてみる。 4 情報をわかりやすく伝えるために写真や図表などの配置を工夫する。 5 記事を発表し合い、わかりやすい見せ方を指摘し合い推敲する。	(2)ア	B(1)イ B(2)イ	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。B(1)イ 【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生か仕方を考えようとしている。
		【話す聞く】 相違点を明確にして聞く	話聞3	●論理の展開などに注意しながら聞く。 ●話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。	1 「学びナビ」を読み、「比較する」ことについて理解する。相手の話を聞くときのポイントを知り、スピーチのテーマをグループで話し合って決める。 2 スピーチ原稿を作成したあと、グループ内で推敲する。 3 自分のスピーチメモと比較しながら相手のスピーチを聞いたり、質問したりする。	(2)ア	A(1)ア A(1)エ A(2)ア	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。A(1)エ 【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって対話しようとしている。

1月	八 「学ぶ力」は他人と比べるものではなく、個人的なもの	学ぶ力	4	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ●本文の「述べ方」や表現の工夫に着目し、筆者の主張を捉える。 ●本文から捉えたことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけ、考えを広げたり深めたりする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通して読み、文章の構成や展開に注意して概要を捉える。 2 全文を、提案・解説・例示の観点から整理し、「学ぶ力が伸びる」条件をまとめる。 3 筆者の主張から、自分の体験を思い起こしたり考えを深めたりする。 4 筆者の考えを踏まえて、小学校からの学びを振り返り、文章にまとめる。 	(2)ア	C(1)ア C(1)オ C(2)ア	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【態度】今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。</p>
		【話す聞く】 よりよい結論を導く討論をする	話聞4	<ul style="list-style-type: none"> ●結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読み、「推論する」ことについて理解する。社会生活の中から話題を決め、自分の考えをもつ。また、役割や討論のあり方を理解する。 2 テーマと役割を決めて、グループで討論を行う。 3 前時の課題を踏まえ、役割を変えて、討論を行う。 4 討論を振り返り、役割を決める意義について考える。 	(2)ア	A(1)ア A(1)オ A(2)イ	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。A(1)オ</p> <p>【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。</p>
2月		文法の小窓3 付属語のいろいろ 文法(解説)3 付属語のいろいろ	2	<ul style="list-style-type: none"> ●付属語にはどのようなものがあるのかを知る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書P237のハルとアキの問答とP299の解説を読み、助詞のはたらきについて理解する。 2 P301の解説を読み、助動詞の種類とはたらきについて理解し「考えてみよう」をやってみる。 	(1)オ		<p>【知識・技能】助詞や助動詞などはたらきについて理解を深めている。(1)オ</p> <p>【態度】粘り強く付属語のはたらきを理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</p>

	九 訳のわからぬ大きな力	豚	1	●詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。	1 「学びナビ」を読んだあと、詩を読み、連の関係に気をつけながら自分の考えをまとめて、詩のイメージをクラスで交流する。	(1)エ	C(1)イ C(1)オ C(2)イ	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【態度】すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
3月		走れメロス	7	●抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ●人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 ●登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通読し、新出漢字や難意語句について理解する。 2 全体の構成を捉えるとともに、第一場面、第二場面を音読し、状況(場面)設定や人物設定についてまとめる。 3 第三場面、第四場面を音読し、できごとをまとめるとともに、そのことについての自分の考えもまとめる。 4 第五場面、第六場面を音読し、メロスとセリヌンティウスの言動や心情、ディオニスの変化を捉え、そのことについて自分の意見をまとめる。 5 人称の変化が作品全体に与える効果について確認する。 6 語り方の特徴を踏まえて読みをまとめ、感想や意見を交流することによって、自分の考えをもつ。 7 シラーの『人質』と比べ読みして、『走れメロス』に特徴的な点を明らかにする。	(1)エ	C(1)ア C(1)オ C(2)イ	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【態度】すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。

	言葉の小窓 3 類義語・対義語・多義語・同音語 言葉(解説) 3 類義語・対義語・多義語・同音語	1	● 日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。	1 類義語と対義語の意味や特徴を理解する。また教科書P282の解説を読み、日常生活の中から集めた多義語や同音語を調べたり、考えたりして用法を知る。	(1)エ		【知識・技能】 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態度】 粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
	【書く】 「連作ショートショート」を書く	書5	● 表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ● 物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。	1 「ショートショート」の特徴について知り、四人で一組になる。一人が「不思議な言葉」を考える。 2 「連作ショートショート」を分担して書く。 3 グループで物語を合わせて読み合い、文章を整える。 4 他のグループと作品を交換して読み合う。 5 感想を交流し、よい点や改善点を教え合い推敲する。	(1)エ	B(1)オ B(2)ウ	【知識・技能】 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ 【態度】 積極的に表現の効果を考え、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
	漢字の広場 4 同音の漢字	1	● 同音の漢字についての理解を深める。	1 同音の漢字について理解し、身のまわりの同音語を見つける。	(1)ウ (1)エ		【知識・技能】 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【知識・技能】 同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態度】 すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。